

作成：令和6年1月10日

修正：令和7年3月12日

## ワンタイムパスワード設定マニュアル ～PC編～

### 目 次

1. 多要素認証について..... 1
2. プログラムのインストールと設定..... 1
3. よくある質問 ..... 5

#### 1. 多要素認証について

本学ではセキュリティの向上を目的に、多要素認証（ワンタイムパスワードもしくは生体情報を用いた二段階認証）を導入しています。POST や moodle など、授業で利用するシステムを安全に利用するために、必ず設定してください。

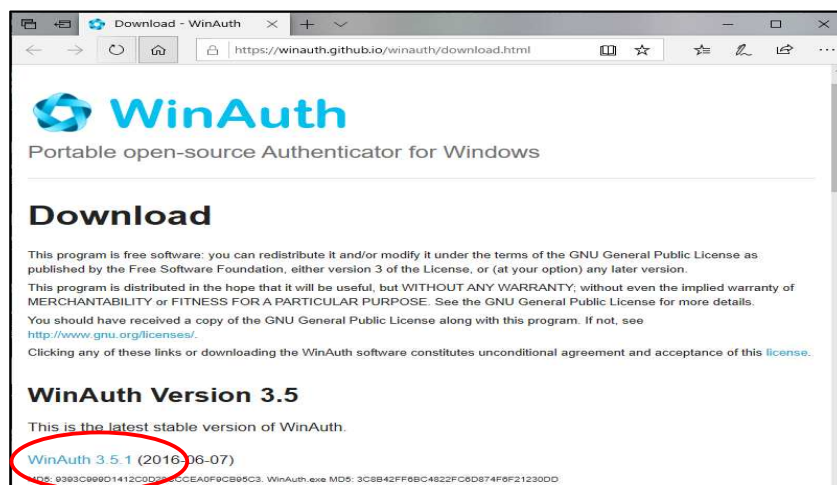
ここでは、多要素認証の利用に必要な認証コード（ワンタイムパスワード）をパソコンで確認するアプリケーション「WinAuth」の設定方法について説明します。

#### 2. プログラムのインストールと設定

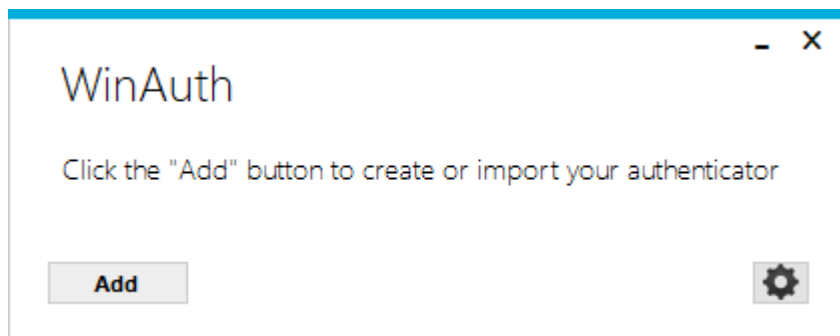
- ① 以下の Web サイトにアクセスし、プログラムをダウンロードします。

<https://winauth.github.io/winauth/download.html>

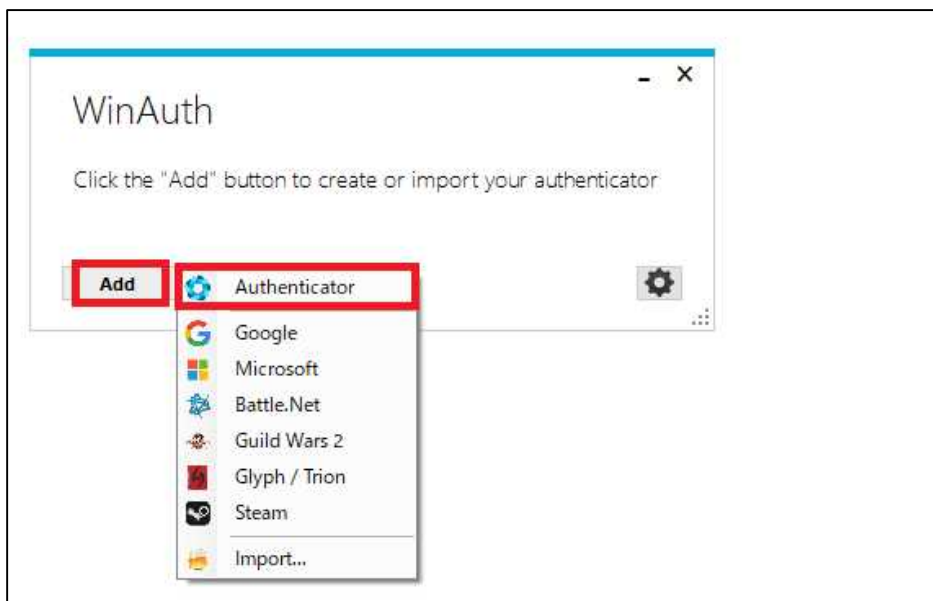
※2025 年 3 月時点では「3.5.1」が最新のバージョンです。



- ② 「保存」または「名前をつけて保存」を選択し、任意の場所に【WinAuth-3.5.1.zip】を保存し、ダブルクリックして zip ファイルを展開します。展開したフォルダの中に入っている【WinAuth.exe】を任意の場所に移動して実行（ダブルクリック）してください。実行後、以下の画面が表示されます。



- ③ 「Add」 ボタンをクリックし、「Authenticator」を選択します。



④ 以下の画面が表示されますので、それぞれ必要事項を入力します。

The screenshot shows the 'Add Authenticator' window with the following elements and annotations:

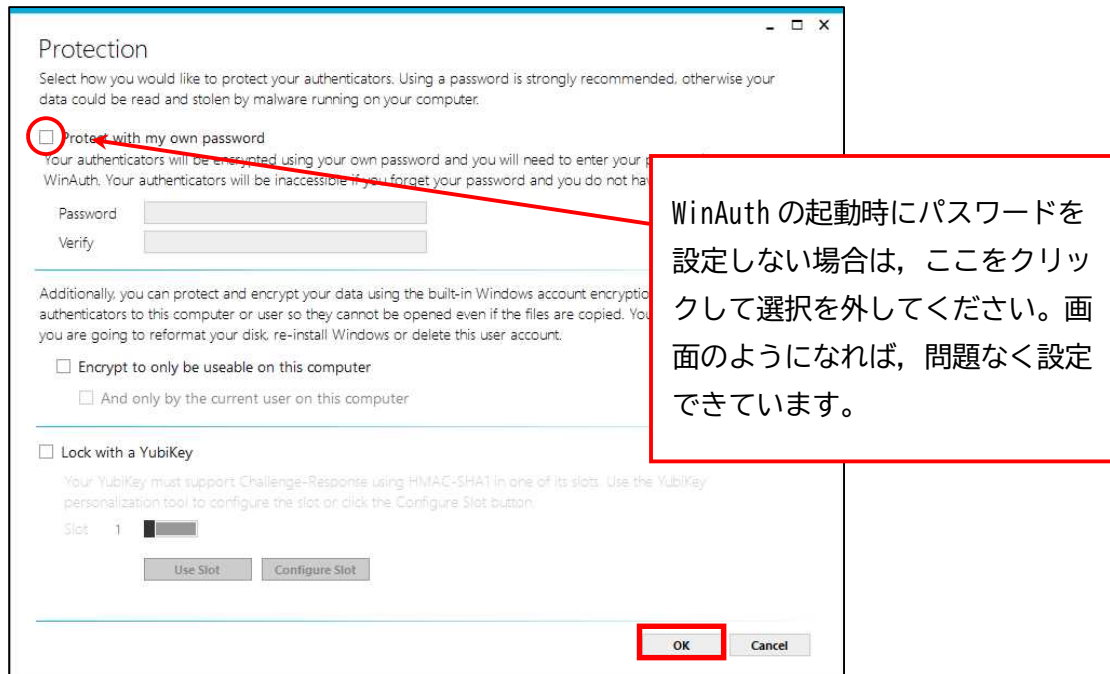
- Name:** KSU MFA (Annotated: 登録名を入力 (※任意))
- Step 1:** Enter the Secret Code for your authenticator. Spaces don't matter. If you have a QR code, you can paste the URL of the image instead. The input field contains 'AF' (Annotated: シークレットキーを入力). A 'Decode' button is next to it.
- Step 2:** Choose if this is a time-based or a counter-based authenticator. If you don't know, it's likely time-based, so just leave the default choice. The 'Time-based' radio button is selected (Annotated: 「Time-based」を選択).
- Step 3:** Click the Verify button to check the first code. The 'Verify Authenticator' button is highlighted (Annotated: クリックするとコードが表示される).
- Step 4:** Verify the following code matches your service. The code '081 196' is displayed in a box.
- Buttons:** 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom (Annotated: 全ての入力完了したら「OK」をクリック).

携帯端末で設定した際に保存したシークレットキーがここで必要になります。

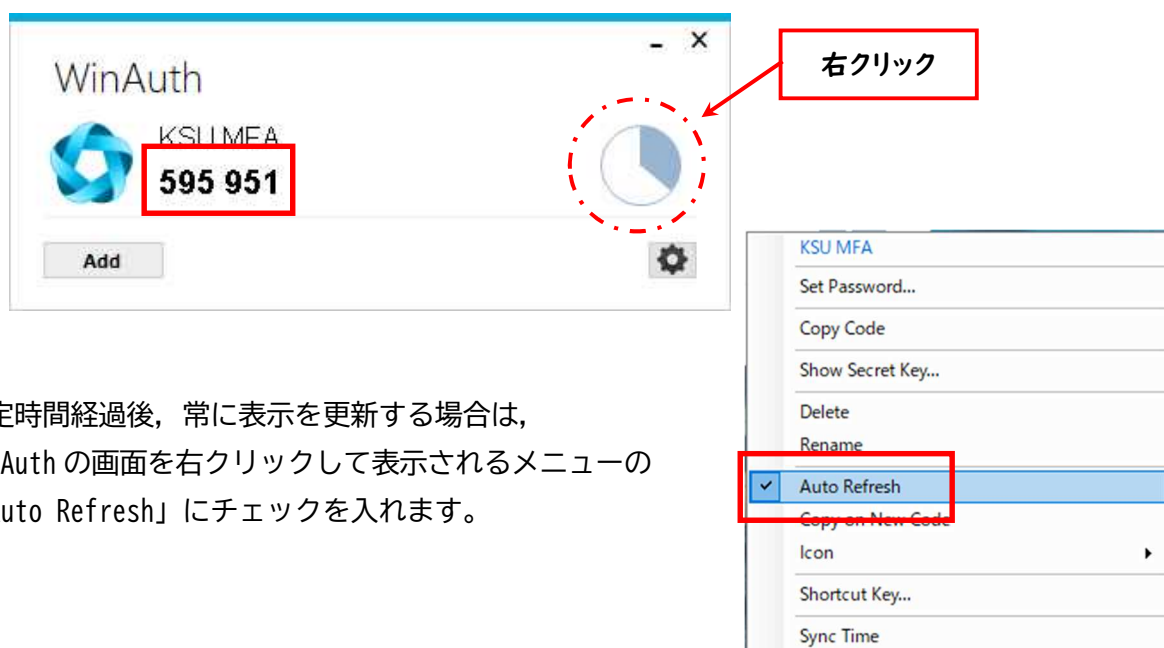
The screenshot shows a screen with a QR code and the following text and elements:

- Text: ※QRコードを読み込んだだけでは設定は完了しません。Stepに従って最後まで設定を進めてください。
- Link: [QRコードを読み込めない場合](#)
- Input field: シークレット: [Redacted] (Annotated: シークレットキーを入力)
- Button: 次へ

- ⑤ 「OK」をクリックすると、以下の画面が表示されます。ここでは、このアプリケーションを起動するパスワードを設定することも可能ですので、必要に応じて設定してください。最後に「OK」をクリックして、設定は完了です。

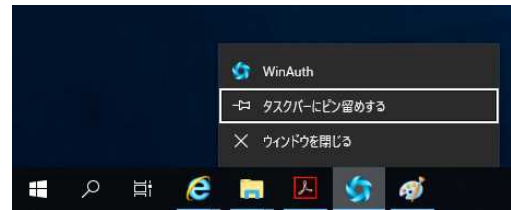


設定が完了すると以下の画面が表示され、認証コードが表示されます。



一定時間経過後、常に表示を更新する場合は、WinAuth の画面を右クリックして表示されるメニューの「Auto Refresh」にチェックを入れます。

最後に、WinAuthを開いた状態で、タスクバーのWinAuthアイコンを右クリックし、「ピン留めする」をクリックしておく、タスクバーから起動できるので、便利です。



### 3. よくある質問

Q：6桁の認証コードを入力してもログインできない。

A：以下の原因が考えられますので確認してください。

1. パソコンの時刻設定が正しくない（時刻がズレている）。
2. 入力した事前共通鍵が正しく入力されていない（入力ミス）。

Q：WinAuthに設定したパスワードを忘れた。再インストールをしたいが前に設定したものが表示されてしまい再設定できない。

A：下記の手順を実施してWinAuthの設定を削除してください。

1. 「C:\Users\%(ユーザー名)\AppData\Roaming\WinAuth\winauth.xml」を削除する。  
※「Users」の代わりに「ユーザー」と表記されていることもあります。  
※「AppData」が表示されない場合は、下記の手順で隠しファイルを表示するように設定してください。

#### 【Windows10】

- 1\_タスクバーからエクスプローラーを開きます。
- 2\_[表示] > [オプション] > [フォルダと検索のオプションの変更] の順に選択します。
- 3\_[表示] タブを選択し、[詳細設定] で、[隠しファイル、隠しフォルダ、および隠しドライブを表示する] を選択し、[OK] を選択します。

#### 【Windows11】

- 1\_タスクバーからエクスプローラーを開きます。
- 2\_[表示] > [表示] > [隠しファイル] を選択します。

以 上